

◇ 教員免許更新講習シラバス(必修領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態		
教育の最新事情		全教員	6H	講義・演習		
日程	定員	講師名(所属・職名等)				
平成29年7月2日(日)	220人	板橋 孝幸(奈良教育大学・准教授) 小柳 和喜雄(奈良教育大学・教授) 大久保 純一郎(帝塚山大学・教授) 池島 徳大(前奈良教育大学・教授)				
会場						
奈良教育大学						
【小テーマ①】	項目	国の教育政策や世界の教育の動向		(担当講師:板橋 孝幸)		
	内容	○国の教育政策 ○世界の教育の動向				
講習形態	講義形式					
講習内容	本講習では、教育に関する調査などの各種データを用いながら、日本における教育政策や世界の教育の動向について客観的かつ具体的に把握する。それらを踏まえながら教職を取り巻く状況を確認し、教員の役割や資質について考察する。					
到達目標・確認指標	学校を巡る近年の様々な状況変化について、客観的かつ具体的に理解している。各種報道、世論調査、統計の動向等を分析・理解し、説明することができるか。					
キーワード	教育調査、教育改革、子どもの学び					
【小テーマ②】	項目	教員としての子ども観、教育観等についての省察		(担当講師:小柳 和喜雄)		
	内容	○子ども観、教育観等についての省察 ○教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要望の強い事柄				
講習形態	講義形式・演習形式					
講習内容	生活環境、メディア環境が変化する中で、子どもの生活も変わってきている。子どもたちは家庭生活と学校生活の両方で様々なメディアに接し、そこから学んでいる。本講習では、フォーマル、ノンフォーマル、インフォーマルな教育環境の中での学び、また21世紀型能力など、求められる資質能力と言われていることに目を向ける。そして関連する調査報告、研究報告から明らかにされている情報や知見を理解する。その上で、実際に自分たちの接触している子どもたちの様子をあらためて問い、ペアワークあるいはグループワークを通じて、就学前から高等学校までの子どもたちの姿(自分たちの子ども観)について意見交換を行う。これら、研究成果として言われていることと、自分たちが感じていることを重ねて俯瞰し、自分の子ども理解を就学前から高校卒業まで通して考え、磨く機会を持つ。					
到達目標・確認指標	教員に国民が何を期待しているか、理解している。各自の現状を自ら分析し、自らが向かうべき方向を明確に意識し、説明できるか。					
キーワード	子ども理解、リテラシー、生活環境の変化、学校生活、家庭生活、教育観、職能成長					
備考	限られた時間ですが、ペアワーク、あるいはグループワークで、異なる校種種で意見交換を行う機会を持ちます。					
【小テーマ③】	項目	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)		(担当講師:大久保純一郎)		
	内容	○子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容 ○特別支援教育に関する新たな課題(LD、ADHD等)				
講習形態	講義形式					
講習内容	子どもの心身の発達について、脳科学、行動科学の立場から、最近の知見を紹介する。特に、特別支援教育の対象となる発達障害(自閉スペクトラム症、学習障害、注意欠如多動症など)について、その行動的、心理的な特徴をまとめ、行動科学にもとづく対応、支援について、応用行動分析や、Positive Behavior Supportの立場から概説したい。また、発達障害のアセスメントについても、最近の知見について述べるとともに、最新の検査法についても紹介したい。					
到達目標・確認指標	子どもの発達に関する最新の科学的知見の概要を理解している。LD、ADHDはじめ特別支援教育に関するものも含め、子どもの発達に関する最新の科学的な課題を理解し、説明できるか。					
キーワード	自閉スペクトラム症、学習障害、注意欠如多動症、応用行動分析、アセスメント					
備考	科学的な発達理解、障害理解にもとづいた支援教育の一助となる講義にしたいと考えています。					
【小テーマ④】	項目	子どもの生活の変化を踏まえた課題		(担当講師:池島 徳大)		
	内容	○居場所づくりを意識した集団形成 ○多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割 ○生活習慣の変化を踏まえた生徒指導 ○カウンセリングマインドの必要性				
講習形態	講義形式・演習形式					
講習内容	学校生活の中で生起するいじめなどのもめごと問題への対応について、ピア・サポート及びピア・メディエーションによる具体的な解決方を提示し、その有用性について講義・演習を行う。また、いじめなどの人間関係の修復に関して、修復的正義(リストラティブ・ジャスティス)の考え方を紹介し、如何にして子どもたちの社会的責任能力を育むかについても、講義を行う予定である。					
到達目標・確認指標	子どもの生活の変化を踏まえた指導の在り方を理解している。子どもの生活の変化を踏まえた、具体的な指導上の課題及び対処方法を理解し、説明できるか。					
キーワード	いじめ、もめごと、ピア・サポート、ピア・メディエーション、社会的責任能力、修復的正義(リストラティブ・ジャスティス)					
試験方法	1日の最後に、その日に受講したテーマに即した内容の筆記試験を50分程度で実施する。					
成績評価の方法・基準等	試験の成績で判断する。(25点×4テーマ=100点満点) 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。					